

ステート・ストリート
DCグローバル債券
インデックス・オープン

追加型投信/海外/債券/インデックス型

第10期末 (2021年2月22日)	
基準価額	16,683円
純資産総額	65百万円
第10期 (2020年2月21日～2021年2月22日)	
騰落率(分配金再投資後)	1.8%
分配金合計	0円

第10期運用報告書
(決算日2021年2月22日)

作成対象期間(2020年2月21日～2021年2月22日)

交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧およびダウンロードいただけます。

なお、運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせ下さい。

閲覧方法: 下記照会先ホームページから公募投資信託を選択、該当ファンド名称を選択し、右上の「運用報告書(全体版)」を選択

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、「ステート・ストリートDCグローバル債券インデックス・オープン」は、2021年2月22日に第10期の決算を行いましたので、運用状況をご報告させていただきます。

当ファンドは「外国債券インデックス・マザー・ファンド」(以下、マザーファンドといえます)受益証券を主たる投資対象とし、マザーファンドの組入比率を高位に保つことでFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

今後とも、ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

<ファンドに関する照会先>

営業部

電話番号 03(4530)7333

お問い合わせ時間 (営業日) 9:00～17:00

ホームページアドレス www.ssga.com/jp

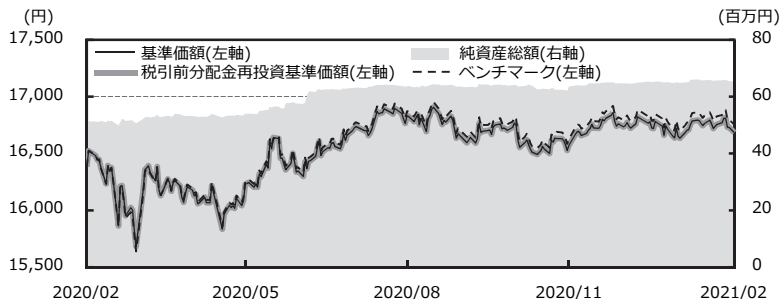
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

〒105-6325 東京都港区虎ノ門一丁目23番1号 虎ノ門ヒルズ森タワー25階

●運用経過の説明

基準価額等の推移

作成対象期間(2020年2月21日～2021年2月22日)



第10期首：	16,382円
第10期末：	16,683円(既払分配金0円)
騰落率：	1.8%(分配金再投資後)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドのベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)で、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。なお前期末の基準価額にあわせて委託会社が独自に円換算および合成して指数化しています。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	期前半に米連邦準備制度理事会(FRB)が積極的な利下げを実施したことが米国債の利回り低下となり、欧州委員会が欧州連合(EU)復興基金や欧州中央銀行(ECB)による積極的な緩和姿勢が好感され通貨ユーロが上昇したことが外貨建て資産の円貨評価額の上昇となり基準価額の上昇に寄与しました。
下落要因	新型コロナウイルスの影響による世界的な景気後退懸念が強まり対米ドルで円高が継続したことが外貨建て資産の円貨評価額の下落となり基準価額の下落に寄与しました。

1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当 期 (2020年2月21日~2021年2月22日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
平均基準価額	16,553円	-	期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	42円	0.254%	(a)信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 消費税は報告日の税率を採用しています。
（投信会社）	（ 16）	（0.100）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（ 18）	（0.111）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（ 7）	（0.044）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	8	0.048	(b)その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 6）	（0.037）	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	（ 2）	（0.011）	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	・ その他は、LEI支払手数料及び金銭信託手数料
合 計	50円	0.302%	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

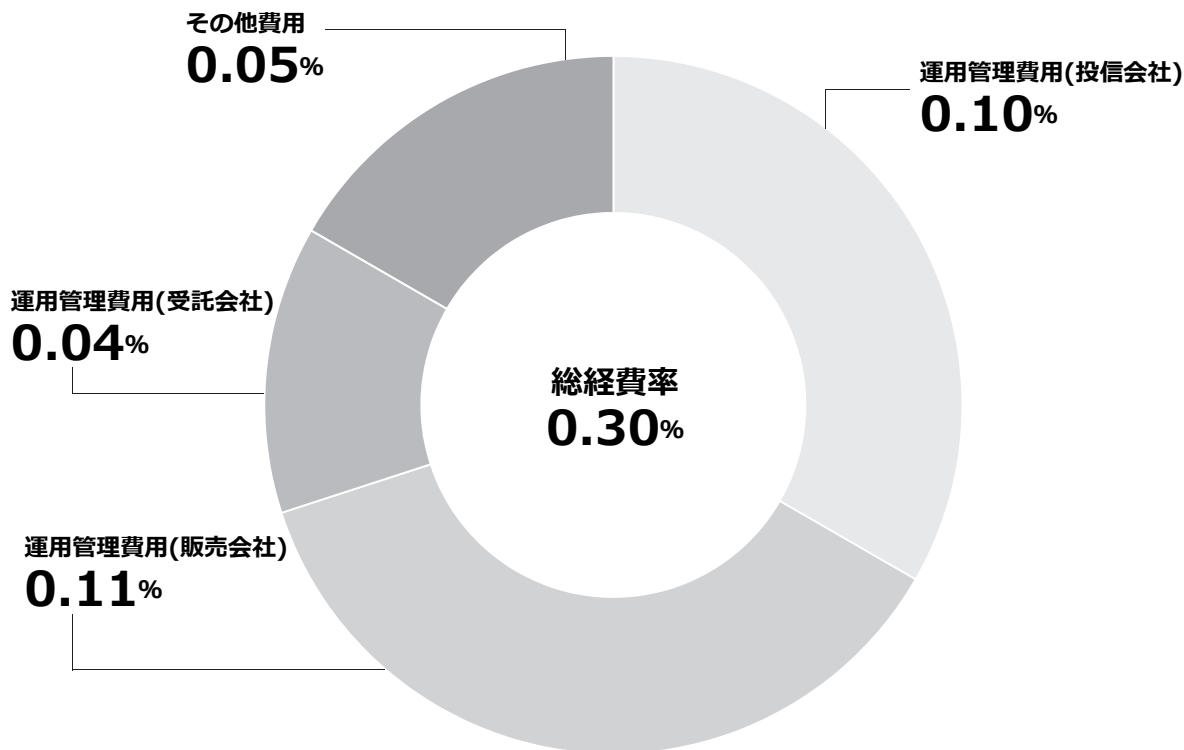
(注3) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した**総経費率(年率)は0.30%です。**



(注1) 費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

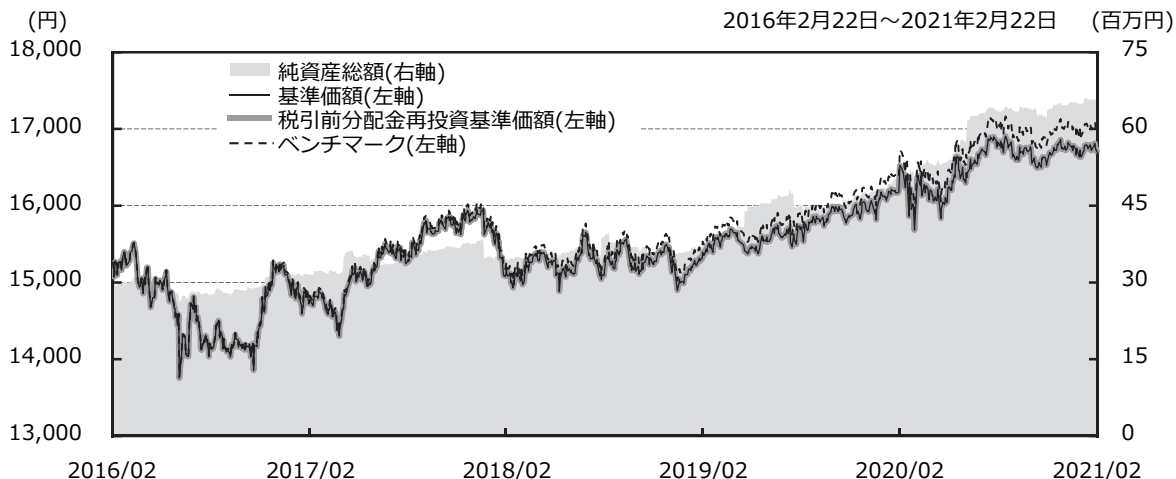
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 費用はマザーファンドが支払った費用を含みます。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドのベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)で、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。なお2016年2月22日の基準価額にあわせて委託会社が独自に円換算および合成して指数化しています。

決算日	2016年2月22日	2017年2月20日	2018年2月20日	2019年2月20日	2020年2月20日	2021年2月22日
基準価額(円)	15,261	14,721	15,117	15,391	16,382	16,683
期間分配金合計(税込み)	0	0	0	0	0	0
騰落率(%)	△5.3	△3.5	2.7	1.8	6.4	1.8
ベンチマーク騰落率(%)	△4.9	△3.2	3.0	2.1	6.8	2.3
純資産総額(百万円)	29	31	34	37	50	65

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てています。

投資環境

【米国債券市場】

米国債券市場は、期前半、新型コロナウイルスが経済へ与える影響が懸念されたことが債券の買い材料となりました。FRBは2020年3月に2回の利下げを実施し、月間で合計1.50%の利下げを行ないました。期後半に入ると雇用統計をはじめとする経済指標に底堅さが見られることや新型コロナウイルスに対するワクチン開発の進展を背景に債券が売られました。期末にかけては財政支出の拡大見通しも債券の売り材料となりました。米国10年債利回りは、前期末の1.52%から1.37%への低下となりました。

【欧州債券市場】

欧州債券市場は、期前半、新型コロナウイルスを巡る懸念が独国債の買い材料となり、3月に独10年国債利回りが過去最低水準を更新しました。その後はECBが大型の緩和策の導入を決定した一方で利下げを見送ったことから債券利回りが反転上昇しました。期後半は、新型コロナウイルス感染拡大による厳格な都市封鎖による景気減速懸念が独国債の買い材料となりました。期末にかけては新型コロナウイルスのワクチン普及を受け世界的に景気回復期待が高まったことを背景に独国債が売られました。独10年債利回りは前期末の-0.44%から上昇し-0.34%で期末を迎えました。英国債券市場は、期前半、欧州債に連動して利回りが大きく上下する展開となりました。期後半は、英国のEU離脱後の通商関係を巡る交渉が難航していることや新型コロナウイルス感染再拡大による制限措置に対する懸念の高まりが英国債の買い材料となりました。期末にかけては新型コロナウイルスのワクチン普及への期待感と景気回復期待の高まりから債券が軟調となりました。英10年債利回りは前期末の0.58%から上昇し0.68%となりました。

【為替市況】

米ドル・円相場は、期前半、新型コロナウイルスを巡る懸念を背景に日本円が急上昇し、3月上旬には102円台まで円高が進みました。その後は急速な円高が調整となりました。期後半は、新型コロナウイルスの影響による世界的な景気後退懸念が強まり円高基調が継続しました。前期末に111円台であった米ドル・円は105円台への円高ドル安となりました。

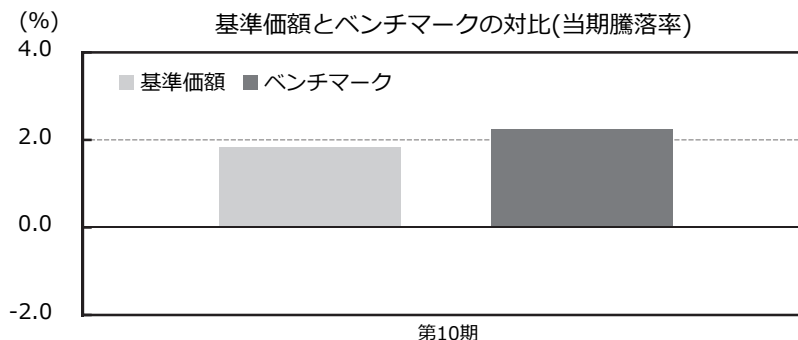
ユーロ・円相場は、期前半、新型コロナウイルスの影響に対する経済支援策として欧州委員会がEU復興基金案を公表したことが好感され、ユーロ高となりました。期後半も堅調な経済指標に加え、ECBの積極的な金融緩和が好感されてユーロ高となりました。前期末に120円台であったユーロ・円は127円台で当期末を迎えました。

当該投資信託のポートフォリオ

当ファンド	当ファンドは「外国債券インデックス・マザー・ファンド」受益証券の組入比率を高位に保つことでFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)に連動する投資成果を目指した運用を行いました。
外国債券インデックス・マザー・ファンド	マザーファンドは、日本を除く世界主要先進国の国債、政府機関債を主な投資対象とし、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)に連動する投資成果を目指した運用を行いました。公社債への投資は原則として高位を維持し、外貨建資産に対する為替ヘッジは原則として行っておりません。FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の収益率を捉える目的で、層化抽出法の発想に従って、ファンドの国別通貨別の配分や、各国別とファンド全体のデュレーション(金利感応度)、債券の満期構成などをベンチマークに合致させるように努めつつ、指数構成国の国債に分散投資しました。指数の構成銘柄変更のタイミングに合わせて、各月末にファンドのリスク特性をベンチマークに合わせるべくリバランス(銘柄の入れ替え)を行うとともに、月中における資金流入に対応した取引や、ファンドで受け取った利金の再投資も行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

基準価額の騰落率は+1.8%となり、ベンチマークの騰落率(+2.3%)を0.4%下回りました。主な要因は、当ファンドから信託報酬等の費用を控除したことがマイナス要因となりました。



分配金

当期の収益分配金は基準価額の水準、市況動向などを勘案した結果、見送りとしております。また、収益分配に充てず信託財産に留保した収益は、特に制限を設けず、元本部分と同様の運用を行う方針です。

■分配原資の内訳

(1万口当たり・税込み)

項 目	第10期 (2020年2月21日～ 2021年2月22日)
当期分配金	-円
(対基準価額比率)	-%
当期の収益	-円
当期の収益以外	-円
翌期繰越分配対象額	7,893円

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

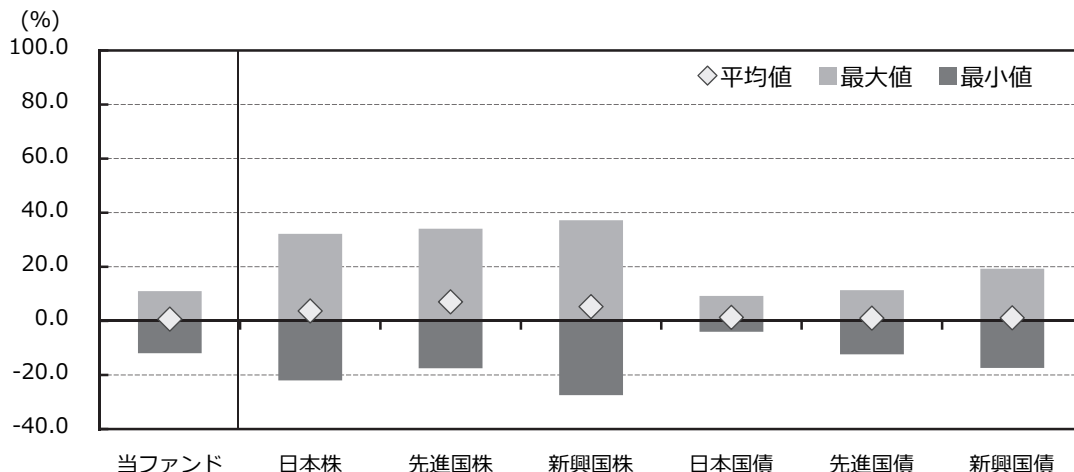
●今後の運用方針

今後も引き続き、マザーファンドを通じて、主として日本を除く世界主要先進国の国債、政府機関債などに投資することにより、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)に連動する投資成果を目指します。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)に連動した投資成果を目指して運用を行います。 ・ 主として、外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券に投資し、組入比率は原則として高位を維持します。 ・ 外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。 	
主要運用対象	ベビーファンド	外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券
	マザーファンド	日本を除く世界主要国の国債、政府機関債など
運用方法	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・ マザーファンド受益証券へ投資し、その割合には制限を設けません。 ・ 公社債への実質投資割合には制限を設けません。 ・ 株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使による取得に限り、実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・ 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公社債への組入比率は原則として高位を維持し、投資割合には制限を設けません。 ・ 株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使による取得に限り、投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・ 外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲 分配対象額は、繰越分を含めた利子等収益と売買益(評価益を含みます)等の合計から経費を控除した額の範囲内とします。</p> <p>②分配方針 分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用方針 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	0.7	3.7	7.1	5.3	1.4	1.0	1.1
最大値	11.0	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	-11.9	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
 - * 5年間(2016年2月～2021年1月)の各月末における年間騰落率の平均・最大・最小を表示したものです。
 - * 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
 - * 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
 - * 代表的な資産クラスを表す指数
 - 日本株 ……………東証株価指数(TOPIX)(配当込み)
 - 先進国株 ……………MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)
 - 新興国株 ……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
 - 日本国債 ……………NOMURA – BPI国債
 - 先進国債 ……………FTSE世界国債インデックス(除く日本・円ベース)
 - 新興国債 ……………JPモルガンGBI – EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)
- ※各指数の詳細は、「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数についてをご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

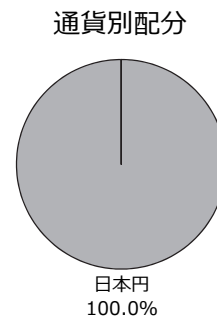
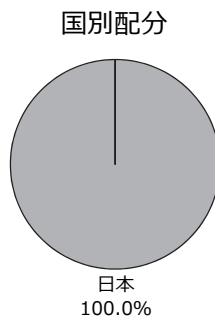
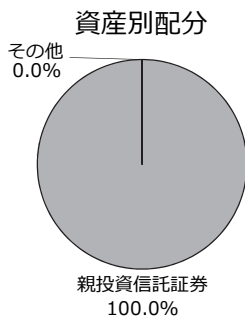
● 当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

組入(上位)ファンド(銘柄)

	第10期末 2021年2月22日
外国債券インデックス・マザー・ファンド	100.0%
その他	0.0%

(注) 組入比率は、純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。



(注1) 資産別、通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 未収・未払等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項 目	第10期末 2021年2月22日
純資産総額	65,292,413円
受益権総口数	39,137,990口
1万口当たり基準価額	16,683円

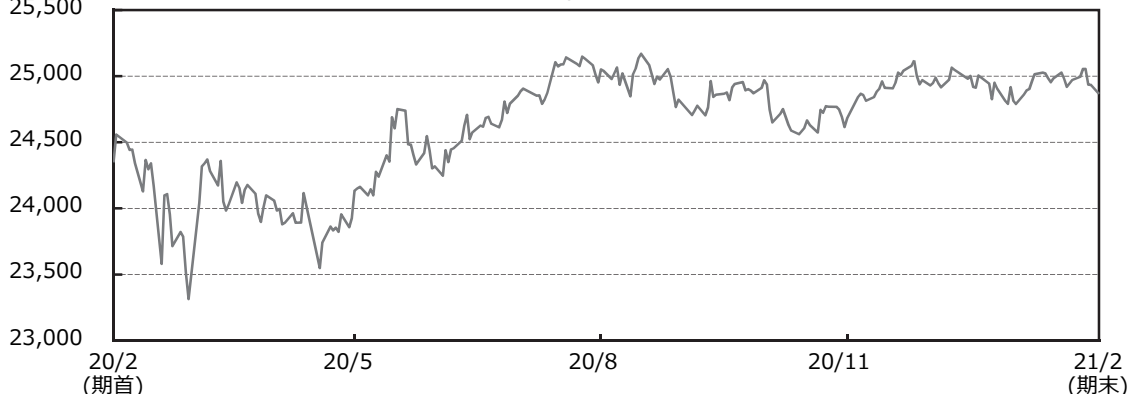
(注) 当期中における追加設定元本額は11,618,478円、同解約元本額は3,518,989円です。

組入上位ファンド(銘柄)の概要

◇外国債券インデックス・マザー・ファンド

(円)
25,500

基準価額の推移



組入上位10銘柄

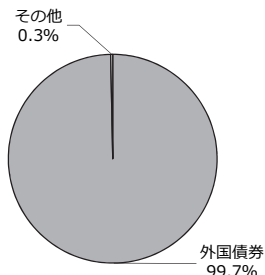
※対債券時価総額

	銘柄名	投資国名	通貨	比率
1	US TREASURY N/B 1.625% 2022/11/15	アメリカ	USD	0.78%
2	US TREASURY N/B 2% 2022/11/30	アメリカ	USD	0.73%
3	US TREASURY N/B 2% 2025/2/15	アメリカ	USD	0.65%
4	US TREASURY N/B 1.5% 2026/8/15	アメリカ	USD	0.63%
5	US TREASURY N/B 2% 2022/2/15	アメリカ	USD	0.60%
6	US TREASURY N/B 0.625% 2030/8/15	アメリカ	USD	0.57%
7	US TREASURY N/B 1.625% 2022/8/31	アメリカ	USD	0.54%
8	US TREASURY N/B 2.375% 2024/8/15	アメリカ	USD	0.53%
9	US TREASURY N/B 2.625% 2025/3/31	アメリカ	USD	0.53%
10	US TREASURY N/B 0.875% 2030/11/15	アメリカ	USD	0.52%
組入銘柄数				526銘柄

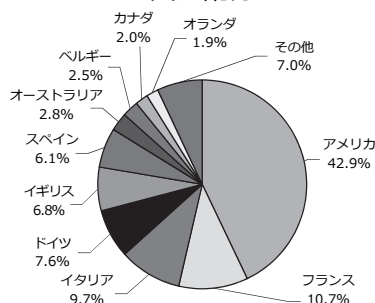
1万口当たりの費用明細

項目	当期 (2020年2月21日～ 2021年2月22日)
(a) その他費用 (保管費用)	9円 (9)
(その他)	(0)
合計	9円

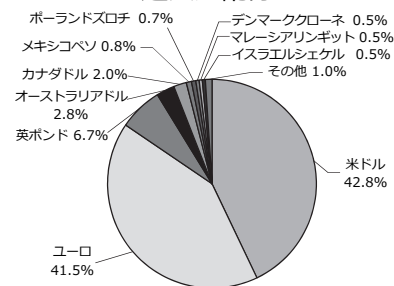
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2021年2月22日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は当該マザーファンドの直近の決算期のものです。費用項目については、2ページの注記をご参照ください。

(注3) 資産別、通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注4) 未収・未払等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されております。

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ JPMorgan GBI – EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)

JPMorgan GBI – EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P.Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。